



# けんかしのくに おも 県歌「信濃の国」どう思う？

昨年11月、こども記者のみんなに答えてもらった県歌「信濃の国」アンケートの結果は、1月9日付【こども新聞】でお伝えしました。そこにのせきれなかったこども記者の「信濃の国」についてのコメントをここで紹介します。\*全部を紹介できずにごめんなさい！

こども記者に聞きました

①「信濃の国」を歌えますか？

1～6番まで全部歌える	12人
途中までなら歌える	25
歌ったことはある	8
聞いた事はある	5
知らない	1

回答51人

②歌ったことがある人は、どう思いますか？

長野県のことがいっぱい出てきておもしろい	20人
歌詞がむずかしい	5
元気が出てくる曲で楽しい	7
4番が変わっているのがむずかしい	13

(2011年1月9日付【こども新聞】より)

もっともっと知ってもらえるように、ダンスや紙芝居で、全国にピーアールしたい。全国のみんなにうたえるようになってほしい。  
(富島織音記者・伊那市4年)

1年くらい前、住んでいる地区の回覧板で「信濃の国」のダンスをやると回ってきたので参加しました。はねたり、ポップな感じのふりでおもしろかったです。  
(溝口紗彩記者・岡谷市6年)

4番のリズムがちがったり、言葉がむずかくなっているのは、なんでかなあ。  
(加藤大貴記者・長野市4年)

いろんなかさがでてきておもしろい！！長野のことをおぼえたり、ダンスにしたり、いろんなことにつかえているのでやくにたつて、とってもべんり。  
(塚田彩音記者・長野市2年)

## こども記者のコメント紹介



運動会で先生たちがアレンジした「信濃の国」ダンスをおどりました。テンポがはやくてすごく元気になりました。  
(橋部綾野記者・佐久市4年)

ぼくが知っている川や山の名前がでてきてうれしかった。  
(滝澤悠真記者・長野市2年)

社会の授業で、歌に出てくるむずかしい言葉をパソコンで調べたり、運動会でダンスをおどったりしました。  
(南河凜記者・長和町4年)

以前、長野県庁に電話した時、「お待ちください」の音楽が、「信濃の国」でびっくりした。  
(橋部萌野記者・佐久市6年)

昔の曲にしては、テンポがいいのでロック調だと思う。商店街でBGMとして流せば、もりあがるような…。  
(小牧弘季記者・伊那市6年)

お母さんは福島県出身だけど歌えます。長野県に来てから、村の運動会で婦人部の出し物として「信濃の国」のおゆづぎがあつて、おぼえました。  
(豊田真由記者・木島平村6年)

2010年12月30日付信濃毎日新聞で、長野県内の全部の小学校に行った「信濃の国」に関するアンケートの結果を伝えました。みなさんは、この結果をどう思いますか？

この歌をつかった浅井湧さんは、私が通う屋代小学校の校歌もつくつたので、どちらの歌も大事にしたいと思った。  
(田中ひかる記者・千曲市6年)

## 「信濃の国」薄れる存在感

「信濃の国」を全校児童で歌う機会が、減少傾向にある。アンケートの結果、87%の小学校で歌わない。

県内小学校(本社アンケート)

歌う機会がある小学校: 84校 (87%)  
歌わない小学校: 12校 (13%)

アンケート実施期間: 2010年12月1日～12月31日  
対象: 長野県内の小学校(1年生～6年生) 100校

調査結果: 87%の小学校で「信濃の国」を全校児童で歌う機会がある。13%の小学校では歌わない。また、歌う機会がある小学校でも、半数以上は「信濃の国」以外の校歌を主に歌っているという。また、歌う機会がある小学校でも、半数以上は「信濃の国」以外の校歌を主に歌っているという。

ここだけのヒミツ！ベテラン記者の失敗談

【記者51年目】信濃毎日新聞主筆 中馬清福記者

18本目

熱意が通じた大雪の写真撮影

一年生

1960年、朝日新聞の秋田支局長が「元日の県版のトップ記事を書いてみる」と言います。もう有頂天で、県境の開拓地をルポすることにしました。そこはタクシも断る山奥で、雪道を片道2時間かけて歩けず、大歓迎され、牛と一緒に牧場に泊まった翌朝、では全員で写真を撮ると言うので、牛の顔が変わりました。この吹雪のなか、大事な牛を外に出せるものか、組合長の一声、みんなささと戻って

いけません。牛のいない写真や話にならない。案の定、支局長は私の目の前で写真をビリビリと破りました。私の失敗です。人びとの生活と季節の関係を考えていなかったのです。代案を携えて再度挑戦、だが、やはりうまくいかない。支局長もビリビリ、ポイです。よし、これで駄目なら記者を辞めよう。3度目の山道。雪はさらに深くなっていました。これじゃこんども牛はだめだろうな…。

さすがに開拓地の人たちも驚いたらしく、三々五々、宿泊先の牧舎に集まってきました。組合長さん、何とかしてあげてくれ、こいじゃ可哀想だ、うちの牛を出すからさ。ひとりのおばさんがそう言うと、おれのとも出さず、という人が続きました。組合長さんも困っていたのでしよう、そうかい、じゃあそいうするか、とほっとした表情で言いました。

参加者募集 締め切り間近!

下諏訪町立諏訪湖博物館周辺

1月30日(日) 9:30～13:00 諏訪湖で

こども記者写真教室、ひらきます!

参加希望の方は、今すぐお電話を

信毎こども記者クラブ(信毎地域活動部)  
TEL026-236-3110

\*定員に達し次第、締め切らせていただきます。

信毎の新聞語

【一線】

いっ・せん

地域の話題や事件、事故などを、日ごろから現場で直接取材している記者の呼び方。こうした第一線(最前線)の記者たちが取材したニュースが、記事になり見出しが付き、紙面となってみなさんにたどり着く。

第11版